

第19回「走近日企・感受日本」中国大学生訪日代表団報告書 団長挨拶

11月29日から12月6日にかけて、第19回「走近日企・感受日本」中国大学生訪日代表団一行34名は、日本での8日間の訪問を行いました。中国日本商会、日中経済協会そして訪問先の関係者の多大なるご支援ならびにご協力の下、代表団の訪日活動は無事そして円満に期待通りの成果をあげることができました。

今回の代表団は北京大学、北京師範大学、北京理工大学、北京語言大学、中国農業大学そして国際関係学院の優秀な学生により構成されています。日本滞在期間中、代表団はパナソニック、トヨタ自動車、三井物産、日本航空、三菱東京UFJ銀行、イトーヨーカ堂、ホテルニューオータニなどの有名企業の見学の他、大阪大学や法政大学の学生たちとの交流、中華人民共和国駐日本国大使館への表敬訪問、孫中山氏と梅屋庄吉氏の一生の友情の舞台となった松本楼への訪問、さらには日本の一般家庭におけるホームステイ体験など、充実したスケジュールの下で多くの収穫を得ることができました。訪日報告会の席上学生等は、今回の訪日交流を通じて日本企業の進んだ技術や経営理念そして環境保全意識を学び、日本の青年たちと相互理解や友情を深め、日本の伝統文化や一般市民の生活を体験することができ、今後は日中友好事業に積極的にに関わり、両国の友好に自分なりの貢献をしたいと述べていました。そして団員らは充実した今回の8日間において、細かな観察や思考を通して様々な角度や側面から認識した日本について日記形式にまとめました。ここに学生等の日本訪問における思いを皆様へご紹介いたします。皆様にはこの報告書から、団員らの収穫や感動といったものを感じ取って頂ければ光栄に存じます。

「走近日企・感受日本」中国大学生訪日プロジェクトは2007年の開始から現在まですでに19回行われ、600名近い中国の大学生が日本での交流を行いました。またこのほど本プロジェクトの第三期提携協定が正式に締結されたことは、改めて日中双方の青少年交流への重視と情熱を示しています。青年は日中友好における未来と希望です。日中両国の青年同士が手を携え、共に両国友好の使者そして架け橋となることを心から願っております。中日友好協会としましても、日本の各界の皆様と共に両国の青少年交流に力を注ぎ、日中友好事業の担い手を絶えず育成していく所存でございます。

最後に、今回の代表団の訪日に際して多大なるご支援を頂いた中国日本商会、日中経済協会および各関連企業やホストファミリーの皆様に、心より感謝申し上げます。

第19回「走近日企・感受日本」中国大学生訪日代表団 団長
中日友好協会副秘書長
王占起